

第 68 回関東都県算数・数学教育 研究（山梨）大会参加報告

千葉県立佐原高等学校 宮部 智哉

富士山の世界文化遺産登録（平成 25 年 6 月）直後に、そのお膝元である山梨県において、8 月 3 日（土）～4 日（日）に、「第 95 回全国算数・数学教育研究（山梨）大会並びに第 68 回関東都県算数・数学教育研究（山梨）大会」が、「算数・数学をつくり、生かす教育の創造」を研究主題として開催されました。3 日（土）は、アイメッセ山梨を会場として、開会式、シンポジウム、部会総会・講演が、また、4 日（日）は、幼稚園・小学校部会分科会が山梨大学教育学部人間科学部附属小学校で、中学校部会分科会が山梨大学教育学部人間科学部附属中学校で、高等学校部会分科会が山梨県立甲府第一高等学校で、それぞれ行われました。開会式、シンポジウム、高等学校部会総会・講演、高等学校部会分科会について、簡単にご報告いたします。

1 開会式

日本数学教育学会会長・清水静海先生、山梨大会実行委員長・中村享史先生よりご挨拶がありました。中村享史先生が、「算数・数学を学ぶ意欲を高め、学んだことの意義や有用性を実感し、生活や学習に活用するためには、言葉や数、式、図などを用いて考えたり、説明したり、表現したりする力の育成が大切である。」とご挨拶されたことが印象的でした。また、山梨県教育委員会教育長・瀧田武彦様、甲府市教育委員会教育長・長谷川義高様よりご祝辞をいただきました。さらに、日本数学教育学会の表彰式が行われ、11 名の方々が表彰されました。その内訳は、学会賞・学術研究部門 4 名、学会賞・実践研究部門 3 名（小学校部門 1 名、中学校部門 1 名、高等学校部門 1 名）、会長賞 1 名、功労賞 3

名（小学校部門 1 名、中学校部門 1 名、高等学校部門 1 名）です。



（開会式の様子）

2 シンポジウム

(1) テーマ

「数学的な考え方、今、どのようにとらえ、展開していったらよいか」

(2) 座長、シンポジスト

座長：日本数学教育学会（以下、日数教）研究部長・金本良通（埼玉大学教授）シンポジスト：日数教会長・清水静海（帝京大学教授）、日数教研究部副部長・細水保宏（筑波大学附属小学校）、日数教研究部副部長・大根田裕（筑波大学附属中学校）、清水宏幸（山梨県教育庁）

(3) 内容

校種を超えた 4 名のシンポジストから、大学、小学校、中学校のそれぞれの現場での実践報告、山梨県教育委員会での取組についての説明のあと、子どもたちのそれぞれの発達段階において、数学的な考え方をどのようにとらえ、展開していくかについて、熱く語っていただき、2 時間があっという間に感じた参加者の方々が多かったのではないかと思います。

3 高等学校部会総会・部会講演

(1) 総会

山梨大会実行副委員長・山中泉（山梨県立農林高等学校長）よりご挨拶があり、協議は

特にありませんでした。また、次期開催地区（鳥取）代表者の方からご挨拶がありました。

(2) 講演

演題：「広がる『数学活用』」

講師：根上生也（横浜国立大学教授）

「大学現場において、『習ったことしかしない、何にでも解法が用意されていると思って、自分で自分の行動を決められない』という学生が多くなったのは、数学教育のせいだと思っている。『数学が人とともにある、数学とともに発展を遂げた人類の歴史を知る、数学が社会に役立っていることを知る』必要がある。そのためにも、新学習指導要領の元で作成された『数学活用』の教科書を是非とも高校現場に広め、教育活動の中で活用してほしい。」という先生の熱い思いが伝わる約2時間のご講演でした。会場には多くの先生方が集まり、会場担当が急きょ椅子の数を増やしても立ち見の方が出るとの盛況ぶりでした。



(講演の様子)

4 高等学校部会分科会

全国大会ということもあり、11の分科会の他にワークショップ(1団体)とポスターセッション(3団体)を合わせて13会場あり、各分科会では、5~9名の研究発表が行われました。なお、千葉県からの発表は1名で、司会者として4名が分科会の運営に協力しました。内容は次のとおりです。

(1) 発表

分科会：数学 III・数学活用分科会

テーマ：教育課程における「数学活用」

位置づけと教材開発

～基調発表を踏まえて～

発表者：相浦敦（さわやかちば県民プラザ）

先人の業績等をさまざまな視点から考えた題材づくりは、導入・トピックス的な扱い・授業の発展などさまざまな位置づけの可能性がある。ナイチンゲールの業績にスポットをあてた授業展開を考える。

(2) 司会

「教育課程・大学入試分科会」で鹿野敏一（千葉県立佐原高等学校）、「数学 I ①分科会」で篠崎健太郎（千葉県立船橋高等学校）、「学習指導法・評価・数学 A②分科会」で和田匡史（千葉県立成田北高等学校）、「基礎・自由研究 ②分科会」で宮部智哉（千葉県立佐原高等学校）が、それぞれ司会を務めました。



(高等学校分科会会場)

次回の「関東都県算数・数学教育研究大会」は、平成26年11月14日（金）に茨城県水戸市で開催されます。大会主題は、「自立的に生きる子どもを育てる算数・数学教育～自ら問いかけ粘り強く考える力の育成を目指して～」です。また、元種子島宇宙センター所長・元筑波宇宙センター所長で現在宇宙アカデミーきくやま代表の菊山紀彦先生の記念講演が予定されています。